

令和元年度第1回水道事業運営審議会

1 開催日時

令和元年7月3日(水) 午前10時00分～12時00分

2 開催場所

柏市柏 5丁目10番1号

柏市役所5階 第3委員会室

3 出席者

(1) 委員

堀田委員, 山田委員, 中島委員, 阿部委員, 三木委員, 根本委員, 後藤委員, 三好委員, 杢富委員, 秋田委員, 永井委員

(2) 事務局

吉川水道事業管理者, 荒巻総務課長, 添田給水課長, 柳本配水課長, 宇賀野浄水課長・水道技術管理者, 他

4 議題

(1) 令和元年度柏市水道事業会計予算について

(2) 水道部庁舎再整備について

5 報告事項

(1) 水道部災害対応図上訓練の実施について

(2) 市内一部給水区域における水道の水圧低下について

(3) 水道料金滞納の提訴について

(4) 水道法改正に伴う条例改正について

(5) 柏市水道施設運転管理業務委託受託者の選定について

6 議事

(1) 令和元年度柏市水道事業会計予算について

質疑

(山田委員)

Q. 企業債発行を見合わせているのはなぜか。健全経営が行われているためか。

A. 財政計画等でシミュレーションした結果, 借入資金がなくとも運営可能と見通しがたったため, 企業債発行を見送りしている。

(堀田委員)

Q. 損益勘定留保資金の推移はどうなっているか。

A. 30億円を切る予定だったが, 給水人口の下落が想定より小さかったため, 留保資金残高も想定より高く維持され, 借入資金抑制に繋がっている。

(根本委員)

Q. 北部整備事業の予算はなぜ単年度編成なのか。

A. 単年度ごとに協定締結される、千葉県負担金を財源としているため、これに合わせて柏市水道部の予算も単年度で編成している。

(後藤委員)

Q. 内部留保の金額はいくらか。

A. 損益勘定留保資金は 72 億 2 千万円である。

(2) 水道部庁舎再整備について

質疑

(根本委員)

Q. 近隣住民の庁舎再整備への反応はどんなものか。

A. 好意的、協力的な反応を頂いている。一部から工期への心配の声も頂いているため、今後も近隣住民へ配慮しながら進めていきたい。

(山田委員)

Q. 計画の遅れの背景はなにか。原材料の高騰など、今後の物価変動への見通しは。

A. 再整備計画の遅れは、計画の見直しと費用削減(半年)、及び入札の不調(3カ月)が原因である。今後の物価変動の見通しについては、現在、オリンピックを要因とする建築費用上昇は落ち着きを見せている。ただし、原材料費、人件費は経年ごとに上昇しているため、工期の短縮には積極的に取り組んでいきたい。

(中島委員)

Q. 工期の変更はどの程度の期間か。

A. 構想の段階では、33 年度末完成を予定していたが、実施計画を立てる中で、また、前述の理由から 1 年程度の遅れを見込んでいる。

(中島委員)

Q. 計画の変更により、どの程度の費用が圧縮されたのか。

A. 6 億 6 千万円である。

(中島委員)

Q. これまでの審議会の中で建築工事と解体工事を分ける提案もあったが、設計変更で工期が延びる状況の中で、入札の工夫はできたのではないか。

A. 早く完成させるために解体工事を建築工事と分けて先に予算化していたが、旧庁舎にアスベストが確認され、その調査により解体計画の設計が遅れてしまった。このため、解体工事と建築工事を連動させるように一帯の工事として入札を行うことに変更した。

(3) 水道部災害対応図上訓練の実施について

質疑

(三木委員)

Q. 訓練に市民役はいたのか。必要ではないか。また、マニュアルへの落とし込みなど、課題への対応はいつまでに行われるか。

A. 市民役はいない。ただし、想定される要望・質問事項は事前に作成し、対応について訓練した。市民役の設置については今後検討したい。課題への対応は早急に行う。

(根本委員)

Q. 地域や町会の防災訓練にも、防災安全課とともに参加して欲しい。また、被災時には、地域にある個人井戸の利用を検討して欲しい。水道部内だけでなく、防災安全課との連携をとって欲しい。

A. 水道施設の応急給水訓練を、各地域において実施しているので、町会でもぜひ活用して欲しい。個人井戸の利用については、防災安全課で検討中である。被災時には、防災安全課が設置する防災対策本部と、水道部が設置する水道部防災本部との連絡を密に行う必要があるとの認識である。

(4) 市内一部給水区域における水道の水圧低下について

質疑

(根本委員)

Q. 柏市の給水車の台数は何台か。

A. 4台

(山田委員)

Q. 住民の反応はどうだったか。

A. お叱りの電話を何件か受けたが、水が止まった家庭が少なかったため、緊急性の高い問い合わせは少なかった。

(根本委員)

Q. 給水車を増やす予定はないのか。

A. 柏市の給水車保有台数は県内でも多い。緊急時の需要や運転人員の確保などを鑑みて、今後検討していく。

(5) 水道料金滞納の提訴について

質疑

(根本委員)

Q. 第一、第二水源地の場所はどこか。

A. 第一水源地は現水道部庁舎、第二水源地はあけぼのにあった。現在どち

らも運転停止している。

(6) 水道法改正に伴う条例改正について

質疑

なし

(7) 柏市水道施設運転管理業務委託受託者の選定について

質疑

(堀田委員)

Q. 今回も5年間のプロポーザル方式の委託か。

A. 5年間のプロポーザル方式の委託である。

6 傍聴

傍聴者なし